



7月新着図書案内



中旬版
富山中部高校図書館



神話で読みとく古代日本
—古事記・日本書紀・風土記—
松本 直樹 著

『古事記』『日本書紀』は、ただの神話ではない。新しい国家の実現を目指し、大和王権が各地で口承されていた神話の力を利用して創作した、極めて政治的な“神話”である。この2つの〈建国神話〉をどのように読めばよいのかを説き、また『風土記』を読みとくことで、国家・地方間の攻防を明らかにする。



天才数学者はこう解いた、こう生きた
木村 俊一 著

古代のバビロニア、エジプトの名もなき天才数学者たち、ガロア、タルターリヤ、ピタゴラス……。天才たちの数奇な人生と数学的大発見とは？ 方程式との格闘は、数のフロンティア拡大の歴史。小数、負の数、虚数、超越数など、方程式四千年の歴史をひもとく数学史入門。



脳はなにげに不公平
パテカトルの万脳薬
池谷 裕二 著

目の前の人のマネをすると好感度が上がる、上流階級の人の方がモラルが低い、手を握るだけで記憶力がアップする—— そんな脳の不思議と科学の最新知見を、人気の脳研究者が軽妙にやさしくつづる。誰かに話したくなる一冊。



たどりつく力
フジコ・ヘミング 著

運命の扉は重いほど中が明るい。貧しさ、いじめ、そして聴力の喪失……。数々の苦難と絶望を突き抜け、如何にして世界を感動させるピアニストとなったのか。音を失った苦悩のピアニスト、フジコ・ヘミングが人生を通してあなたに伝える、運命の扉を開く生き方。

主夫のトモロー

朱川 湊人 著



働く妻を支え、家事と育児をこなす“主夫”齊藤知朗（トモロー）。自らも作家を志し、日々奮闘するトモローに、主夫に対する社会の壁が立ちばかり……。思わず頷ける育児の悩みや醍醐味を描きつつ「家族の在り方・親子の関わり方」など、普遍的なテーマに鋭く言及。ほっこり笑って、ほろりと涙する家族小説。

図書館からのお知らせ

7月13日～19日
蔵書点検のため
閉館します。
20日(終業式)は
貸出冊数の
制限をしません。
夏休みのおともに
本はいかがですか？